

ご挨拶

徳島県立総合教育センター
指導主事 新谷 公子

伝統音楽普及促進支援事業において、邦楽協会が3か年の年月をかけて取り組まれました教材集の完成に際し、県教育委員会より一言ご挨拶を申し上げます。

先生方におかれましては、日頃より本県音楽教育の推進のために、ご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

子どもたちが日本人として、これからの国際社会で活躍するためには、我が国や郷土の伝統や文化を受けとめ、そのよさを継承・発展させていくような教育が求められています。すなわち次代を担う子どもたちが、学校授業の中で伝統音楽に触れ、将来の伝承者や理解者に育っていく環境を醸成していくことが重要です。

ご承知のように、学習指導要領の改訂により、音楽の授業で扱う伝統音楽が充実されました。学校教育においては、伝統音楽を効果的に扱うために、実演家や教員などが協働して、伝統音楽の素晴らしさを子どもたちに教えていく仕組みが形成されつつあります。

本県においても、平成17年度から徳島県邦楽協会の協力により、夏休みに和楽器実技講習会を行っており、「我が国や郷土の伝統音楽」を扱う上で取組の成果が上がってきております。

子どもたちに生きて働く力を身に付けさせるために、「曲を教える」のではなく、「音楽そのものの美しさ」や「よさ」を伝える手立てを考え、教材集を活用しながら、バランスのとれた授業展開を模索していただきたいと思います。

完成にあたり、多大なるご尽力をいただきました関係の皆様には深く敬意を表しますとともに、ますますのご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。